

<h1>第310回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

◎ 日時 2019年2月15日（金）13：10～16：45

◎ 場所 きゅりあん 6階 大会議室

◎ 出席者 20名（法人会員：11名 個人会員：9名 オブザーバ：0名）

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 梶岡企画運営委員挨拶

本日は、午前中に安全技術応用研究会総会を執り行いましたので、午後の短い時間となりましたが、グループ討議も設定しました。いつも以上にみなさまから活発なご意見をいただき進めたく考えます。

② 自己紹介・トピックス

- ・ 月例会にはユーザー会員も多く参加している。機械安全だけでなく、労働安全に関わるトピックや事例などを聞くことができ、メーカー会員にとって有効な会だ。
- ・ 空圧バルブを販売しているが、タンパープルーフ(tamper proof:タンパー・レジスタント 人間が「いたずら」をしても危険を生じないこと)を理解していないユーザーがいることに驚いている。そのようなユーザーには、考え方と有効な方策を伝えて理解してもらい、商売につなげている。
- ・ 機械を販売するときに添付する図面に、三次元図面を採用することでユーザーにわかりやすく伝えることができる。
- ・ 普及会から講師を派遣して戴き、業界団体と共済で厚労省通達の教育を進めている。

③ その他

2) 定例報告

① 第309回月例会・第35回企画運営委員会の概要。

- ・ 詳細は「第309回月例会議事録」参照。

② 第34回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

- ・ 詳細は「第34回関西月例会議事録」参照。

2. テーマ「第3回 安全要求仕様書の活用と新規設備発注時の RA 実態」

13:30～15:30 企画運営委員会

石原、黒川

【概要】

「安全要求仕様書の手引き(2017.9.16)」の背景とポイントを紹介した。その後、新規設備を発注するときやメーカーが設計するときに、メーカーから提出されたリスクアセスメント結果の事例を紹介し、ユーザーとしての安全要求に沿った設計をメーカーにしてもらうための取り組み事例を紹介した。

3. グループ討議「機械導入時の安全要求の各社実態について」

15:40～16:40 企画運営委員会

【概要】

設備設計導入時の安全要求の各社実態について、

- ① メーカーは、ユーザーからどのような要求が出されているのか、出されていないのか。
- ② メーカーとして感じている課題は何か。
- ③ ユーザーは、どのような方法で安全要求をメーカーに伝えているのか。
- ④ 安全要求を伝えるときの課題、伝えた後の課題。

について、実態を出して共通する課題を討議し発表した。

討議結果は、3月度月例会で報告する。

4. その他

1 月度 第309回月例会議事録の会員からのトピック紹介の中で、ISO規格番号の表記に不足がありました。下記内容に訂正します。

「ISO22100-4」 → 「ISO/TR 22100-4」

「ISO/JIS31000」 → 「ISO 31000・JIS Q 31000」

月例会説明資料

資料番号	資料名
	今月度は資料は無し